

主要事業評価シート(第2次実施計画/R1・2・3年度)

① 基本事項	計画コード	事業名	部名	健康福祉部	
	17086	かめやまげんきっこ育成事業	課名	子ども未来課 子育てサポートG	
	施策の大綱	04:子育てと子どもの成長を支える環境の充実	財務科目	会計	01:一般会計
	基本施策	02:安心して産み育てられる環境づくりの推進		款	03:民生費
	施策の方向	01:健やかに産み育てられるための支援の充実		項	02:児童福祉費
	戦略プロジェクト	05:「そして、親となるまち」プロジェクト		目	01:児童福祉総務費
事業予定期間	H 27 ~ R - 年度	主な根拠法令要綱等	児童福祉法		

② 目的・概要	対象	就学前児童、中学生
	目的	運動能力の成長におけるゴールデンエイジである乳幼児期の運動活動を促し、健康的な心身の発達や運動能力の向上を図るとともに、読書による豊かな心を育み、子どもたちが将来に渡って健康な生活を営む力を養うことを目的とする。
概要	かめやまげんきっこフェスティバルを開催し、地域子育て支援センターの交流を図るとともに、各支援センターでの子育て講座を展開し、子どもたちの発達を促す。また、豊かな心を育むため、ブックスタートを実施し、絵本の読み聞かせ講座等を展開する。さらには、かめやまげんきっこを育成するための人材を養成するため、リーダー養成講座を開催するとともに、市内の中学生を対象としたライフプラン教育を行う。	

		令和元年度	令和2年度	令和3年度	
③ 事業の計画・実績	年度計画	<ul style="list-style-type: none"> ○かめやまげんきっこフェスティバル開催 ○子育て講座の開催 ○心の栄養読み聞かせ事業 ○リーダー養成講座の開催 ○ライフプラン教育(中学生) 	<ul style="list-style-type: none"> ○かめやまげんきっこフェスティバル開催 ○子育て講座の開催 ○心の栄養読み聞かせ事業 ○リーダー養成講座の開催 ○ライフプラン教育(中学生) 	<ul style="list-style-type: none"> ○かめやまげんきっこフェスティバル開催 ○子育て講座の開催 ○心の栄養読み聞かせ事業 ○リーダー養成講座の開催 ○ライフプラン教育(中学生) 	
	年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・かめやまげんきっこフェスティバルの開催(来場者329人:保護者159人:子ども170人) ・子育て講座の開催(メイン講座3回、拠点講座56回、延べ参加数:2389人) ・ブックスタートの実施 ・リーダー養成講座の開催 ・思春期ライフプラン講座の実施(3中学校) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ブックスタートの実施 ・ブックスタートの案内チラシ作成 ・子育てガイドブックの作成 ※新型コロナウイルス感染症の影響により中止したもの ・かめやまげんきっこフェスティバル ・子育て講座 ・リーダー養成講座 ・思春期ライフプラン講座(中学校) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ブックスタートの実施 ・ブックスタートの案内チラシ作成 ・子育てガイドブックの作成 ・運動講座の実施 ・思春期ライフプラン講座(2中学校) ※新型コロナウイルス感染症の影響により中止したもの ・かめやまげんきっこフェスティバル 	
事業額	計画額	事業費	1,500千円	1,500千円	1,500千円
		国庫支出金			
		県支出金			
		地方債			
		その他			
	予算額	事業費	1,480千円	1,358千円	1,047千円
		国庫支出金			
		県支出金			
		地方債			
		その他			
決算額	事業費 ①	1,331千円	615千円	692千円	
	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他				
人件費	総人件費 ②	6,279千円	3,920千円	6,322千円	
	一般職員	6,279千円	3,920千円	6,322千円	
	所要人員	0.80	0.50	0.80	
	会計年度任用職員等	0千円	0千円	0千円	
総コスト(①+②)		7,610千円	4,535千円	7,014千円	
受益者負担率		0.0%	0.0%	0.0%	

			令和元年度	令和2年度	令和3年度	
④ 指標	①	名称 地域子育て支援センター利用者数	計画値	36,400	36,500	36,600
		市内5ヶ所の年間利用者数	実績値	29,639	20,642	18,683
			単位	人	人	人
	②	名称 講座開催数	計画値	40	40	40
		各種講座開催数の合計	実績値	56	0	2
			単位	回	回	回
	③	名称 講座参加者数	計画値	1,000	1,000	1,000
		各種講座参加者数の合計	実績値	2,389	0	49
			単位	人	人	人

⑤ 事業の改善	前回評価	【前回評価の対応方針の概要を記入】 かめやまげんきっこフェスティバルや各種子育て講座について、ウィズコロナ・アフターコロナの時代においても必要な事業の実施や対応の方針を検討する。
	改善行動	【前回評価の対応方針を踏まえ、どのような措置を講じたか】 ウィズコロナ・アフターコロナの時代においても必要な事業が実施できるよう、運動講座を直接でもリモートでも実施できるよう準備をし、緊急事態宣言が発令されたため、ZOOMを活用してリモートで開催した。

		評価	(判定)
⑥ 事業の評価	活動	【計画どおりに実施できたか】 令和3年度は、引き続きこの事業の中心となるかめやまげんきっこフェスティバルや各種子育て支援講座などの講座は実施できなかったものの、運動講座はリモートにより開催するとともに思春期ライフプラン事業も2中学校で実施した。ブックスタート事業については予定通り実施し、368世帯への配布を行った。 一方、コロナ禍でおうち時間が増えていることを踏まえ、引き続き、「かめやま子育てライン」により自宅で楽しめる遊びを中心に情報を発信し、令和3年度には、それに加え、緊急事態宣言下での子育て支援センター閉所期間に、動画によりわらべ歌や手遊びを配信した。	B まずまず実施できた
	成果	【成果は順調に上がったか】 一部の事業は実施できなかったため計画した事業実施による全ての成果を得ることは出来なかったが、コロナ禍でもリモートで運動講座を実施し、この事業の目的に資することができた。また、「かめやま子育てライン」での情報発信を充実したことで安心して子育てできる環境づくりに繋がった。	B まずまず成果を得た

⑦ 今後の対応方針	課題	【課題は何か】 この事業と地域子育て支援センター事業との整合を図り、一体的に事業を実施することでこの事業の目的である子どもの健康な心身の発達につなげるとともに、子育て世帯が安心して子育てできる環境をつくることから、事業の実施方法について検討し、今後のウィズコロナ・アフターコロナの時代においても、事業目的を達成し、継続的に実施できるような対応策の検討が必要である。	次期実施計画への方向性 <input type="checkbox"/> 継続（拡大） <input type="checkbox"/> 継続（現状維持） <input type="checkbox"/> 継続（縮小） <input type="checkbox"/> 完了 <input checked="" type="checkbox"/> その他 【その他の場合、その内容を記載】 標準事業にて実施
	対応	【課題に対し、どのように対応するか】 地域子育て支援センター事業にこの事業の目的を包括し、充実して実施することで子どもの健康な心身の発達と安心して子育てができる環境づくりを一体的に行う。	
	効果	【対応することで、どのような効果が期待できるか】 方針に基づく適切な事業等の実施を行うことで、ウィズコロナ・アフターコロナの中においても適切な事業実施が可能となり、健康な心身の発達につながるとともに、子育てに関する関心を高めることができる。	
対応時期		令和4年度	

【1次評価者】	健康福祉部 子ども未来課 子育てサポートグループリーダー 草川 温子
【最終評価者】	健康福祉部 子ども未来課長 佐野 匡史

(参考:前期基本計画期間(H29-R3)における評価履歴)

		H29	H30	R1	R2	R3
判定	活動	A	B	B	C	B
	成果	A	B	B	C	B

■令和3年度予算額(事業費)の内訳

予算額(事業費)		1,047 千円
内訳	令和2年度からの繰越額	千円
	令和3年度の最終予算額	1,047 千円
	令和4年度への繰越額	千円